

第4回観光・まちづくり教育賞最終審査結果

学校名、学年は、応募当時(平成23年度末)時点のものです。

総務大臣賞

赤嶺 美智子 大城 奈美江(糸満市立糸満小学校)

沖縄県

授業テーマ

「2021糸満の未来をデザインする企画 ～つながりのあるまちづくり～」

選考理由:校内の研究として位置づけて取り組み、地域の様々な方々を外部講師として迎えている点、学習発表会での発表まで発展させている点など、地域の現状からスタートしつつ未来を考えていくという「未来のデザイン」にふさわしい実践である。



観光庁長官賞

末廣 真弓(長野市立三本柳小学校)

長野県

授業テーマ

「しなのっこ子ども観光大使(長野市)」～自分たちの住む「長野」の街を知り、それを発信し、もっと「長野」を好きになろう～

選考理由:観光立国教育テキストをもとにして、日本郵便などとも連携しつつ、子ども達の活動を計画的・継続的に積み重ね、「しなのっこ子ども観光大使(長野市)認定証」にまでつなげたところが高く評価できる。



福島県知事賞

矢吹 睦子(郡山市立田母神小学校)

福島県

授業テーマ

「目指せ! 田母神観光大使」

選考理由:行政区、自然愛護会、敬老会などの地元の諸団体と連携し、県の主な産業である農業の体験や地元特産品の「ものづくり」、地域芸能の継承、あるいはチャレンジランキングなどの体験活動を通しながら、子どもたちが地域を好きになる取り組みが高く評価された。



大会会長賞

上木 信弘(鯖江市立惜陰小学校) 福井県

授業テーマ

「子どもたちも教師も鯖江が好きになった。
～ 小学校3年生で行った観光まちづくり教育の実践～」

選考理由:地域の史跡や伝統工芸の仕事の見学学習を通して、
地元が好きになる配慮がされた実践である。観光パンフレットづくりでは、
他校の子ども達の作品を参考にすることで、さらに工夫を加える姿が見られ、
継続的、発展的な学習になっている。



審査員特別賞

八巻 修(宇都宮大学教育学部附属小学校) 栃木県

授業テーマ

「宇都宮の中心“オリオン通り”盛り上げ隊！」

選考理由:地元商店街の見学学習をもとに、その商店街を
さらに活性化させる方法を話し合った。検討した方法を実際に
「盛り上げ隊」として活動するところまでの一貫した指導の流れが
高く評価できる。



奨励賞

北海道 高橋 賢治(様似町立様似小学校)

奈良県 松本 隆行(斑鳩町立斑鳩東小学校)

青森県 黒滝 誠人(三沢市立木崎野小学校)

兵庫県 溝端 達也(明石市立花園小学校)

青森県 北浦 純子(八戸市立白銀南小学校)

岡山県 小野 繁美(矢掛町立矢掛中学校)

岩手県 泉田 剛志(大船渡市立大船渡小学校)

岡山県 津下 哲也(瀬戸内市立国府小学校)

栃木県 山口 浩彦(栃木市立大宮南小学校)

熊本県 佐藤 琢朗(大津町立大津小学校)

三重県 久保 玄理(熊野市立荒坂中学校)